会　議　録

■　議事内容　　２０２６年度７月定例教育委員会
■　日　　時　　令和８年７月２３日（火）１３：３０～１５：４０
■　場　　所　　４階会議室４－１
■　出 席 者　　教　育　長　小西　博泰
教 育 委 員　藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹
事　務　局　入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
福西スポーツ振興課長・教育総務課　小畑

■〔会議の内容〕

１　開会あいさつ

・教　育　長

２　前回議事録の確認

（全委員一致で承認）

３　報告事項

・令和８年度主要事業及び情報・進捗状況の説明、教育委員からの意見聴取

■〔学校教育課関連〕

①「夢と希望の教育」の充実と深化（脳科学理論に基づく教育の推進、「１６か年教育」の推進）【教育課程管理】

（進捗状況）

・７月１日、旭丘中学校において「脱スマホプログラム」の授業を実施した。榊先生とオンラインで十分に打合せを行ったうえで授業に臨んだが、子どもたち自身が設定する目標が低いと感じられた。また、その低い水準のまま指導を終えている先生がいることも判明した。現在、子どもたちは、各自が設定したマイプランを夏休みに実践している。

（今後の予定）

・７月２４日、学校運営協議会の研修会を実施する。
・７月２５日、エクラでサイエンス祭りを開催する。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

（進捗状況）

・６月の４号報告は４件であった。すべて、大きな事案に発展せず解決している。
・７月の校長会では、「学校の可視化と意思決定」というテーマで、全校長に自

校のＳＷＯＴ分析（※）を実施してもらった。その結果、学校マネジメントに対する校長の意識や姿勢に、かなりの温度差があることを実感したため、マネジメントの観点について助言する。

※ＳＷＯＴ分析とは

内部（強み：Strength・弱み：Weakness）と外部（機会：Opportunity・脅威：Threat）を整理して、戦略や改善策を考えるためのシンプルで強力な方法

③人材育成（ミドルリーダー）と働き方改革【人的管理】

（進捗状況）

・校長４名と教頭６名が、県の管理職試験を受験する予定である。

・７月２７日、市の初任者研修と管外から小野市に異動された教職員の研修を行う。

④学校教育課情報

１　市の取組

７月　１日（水）　行政視察（茨城県高萩市）
７月２９日（水）　行政視察（秋田県秋田市）
７月　７日（火）　校長会
７月２４日（金）　不登校対策研修会
７月２５日（土）　サイエンス祭り（エクラで実施）
８月　４日（火）　兵庫教育大学連携講座（アルゴで実施「足が速くなるコツ」）

２　学校の取組

〇小・中・特別支援学校修学旅行

９月　８日（火）～１０日（木）　河合中（東京方面）
９月１７日（木）～１８日（金）　河合小（奈良・京都方面）
１０月１４日（水）～１５日（木）　小野・大部・市場小（奈良・京都方面）
１０月１５日（木）～１６日（金）　小野東・大部小（奈良・京都方面）
１０月２７日（火）～２８日（水）　中番・下東条小（奈良・京都方面）

〇小学校自然学校

学校名	実施期間	利用施設	備考
小野小学校	９月２８日（月）～１０月　２日（金）	嬉野台生涯教育センター	
小野東小学校	７月　６日（月）～　７月１０日（金）	南但馬自然学校	済
河合小学校	９月１４日（月）～　９月１８日（金）	南但馬自然学校	
来住小学校	１１月１６日（月）～１１月２０日（金）	嬉野台生涯教育センター	
市場小学校	１１月１６日（月）～１１月２０日（金）	嬉野台生涯教育センター	

大部小学校	１０月　５日（月）～１０月　９日（金）	嬉野台生涯教育センター	
中番小学校	１０月　５日（月）～１０月　９日（金）	嬉野台生涯教育センター	
下東条小学校	６月１５日（月）～　６月１９日（金）	南但馬自然学校	済

※南但馬自然学校⇒　現在のところ、クマの影響なし

３　学校の状況等

○６月　４号報告４件（いじめ　４件）

○６月の不登校の状況　（　）内は前年数値

小学校７名（１２名）、中学校４８名（５３名）　合計５５名（６５名）

不登校については、今月も昨年度より下回る状況である。しかし、昨年度に欠席日数が１０日以上２０日未満で不登校の数に計上されなかった「要観察児童生徒」の数が増加しており、特に中学校では、昨年度の２倍となっている。「要観察児童生徒」については、サポートセンター及び各校のサポートルームを活用し、少しでも学校へ足が向けられるよう支援を継続していく。

４　その他

○教職員の超過勤務時間について

・６月の超過勤務時間と各校の状況について、別途スライドで説明

・全国学力・学習状況調査の分析結果や各校のＳＷＯＴ分析等と関連付け、再分析した結果の概要を説明

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：家庭学習がゼロというのは、学校が宿題を出していないということか。それとも出された宿題を子どもたちがしていないということなのか。（事務局）

Ａ：出された宿題を子どもたちがしていないということである。ある曜日を決めて、宿題を読書のみとしている学校もある。（事務局）

Ａ：小野市は近隣市と比較して、宿題は多い方だと聞いていた。（教育委員）

Ａ：毎日読書をしないといけないという声を聞いたことがあり、宿題も毎日出ているものだと思っていた。また、全く宿題をしない子どもは、１クラスに数人という感覚でいた。（教育委員）

Ｑ：自分の子育ての経験から、家庭での学習習慣は非常に大事だと実感している。家庭で全く勉強しない子どもの割合は、学校間でバラつきはあるのか。（教育委員）

Ａ：バラつきはある。学力不足の問題は、スマートフォンの保有率や睡眠不足など生活習慣の問題が関連している。さらに、学力不足が、不登校の背景になっている可能性や、非認知能力の低下とも関係があると考えている。各校、危機感を持って、学力不足の問題について取り組んでいただく必要があると考えている。（事務局）

Ｑ：低学年のうちは、保護者が宿題をチェックしていると思っていた。子どもが宿題をしないことを保護者が見過ごしたまま進級し、担任の先生間でも「この子は宿題をしない子」という申し送りだけで終わり、具体的な指導や支援がないまま放置されてしまうことが非常に危険だと感じる。（教育委員）

Ａ：現在、社会的貧困が問題になっているが、私たちの世代の方が、より厳しい家庭環境の子どもが多かったと記憶している。そのため、環境が整っているはずの今の時代に、なぜ、家庭での学習習慣がない子どもが増えているのかが疑問である。（事務局）

Ａ：過去には、保護者から「宿題のチェックが負担である」という連絡を受けたこともあった。家庭ごとに事情は異なるが、宿題のチェックだけでなく、プールカードやマラソン大会に向けた耐寒訓練のカードについても、保護者の方のサインがなく、子どもが保護者のサインを真似て書いているケースもある。（教育長）

Ｑ：宿題を読書のみにした結果、読解力が上がったなどの成果は出ているのか。そういった施策の成果について分析する習慣はあるのか。（教育委員）

Ａ：成果については、今後明らかにしていく段階であると聞いている。（教育長）

Ａ：施策後の分析は行っているが、成果の可視化には至っていない。管理職が見えにくい成果や課題を可視化し、それを教職員に共有することで、今後の改善策や方針を導き出すことが重要であると考えている。（事務局）

Ｑ：ＳＷＯＴ分析の内容は、子どもたちの学習意欲や学習行動等に具体的な変化として表れているのか。（教育委員）

Ａ：取組を進めている過程であるため、まだ成果として表れていない。しかし、ＳＷＯＴ分析の取組により、これまで曖昧であった学校の課題が具体的に明確になった。その内容に沿って、管理職が連携し役割分担を行い、校内で問題解決に取り組む体制が整えられている学校もある。また、小中一貫教育の推進では、小学校で発生した問題行動等が、全て中学校に共有されていない状況を疑問視・問題視している管理職もおり、「仲良しクラブ」ではない「切磋琢磨する」小中合同研修会の実施を目指している。子どもたちの良い情報だけでなく、課題に関する情報についても、十分に連携を図ろうとする取組について、指示する。（事務局）

Ｑ：すべての校長が、校長会においてＳＷＯＴ分析を発表したのか。（教育委員）

Ｑ：校長は、自校以外のＳＷＯＴ分析に加え、超過勤務状況、全国学力・学習状況調査の分析結果を確認しているのか。確認しているのであれば、他校の情報を参考にし、改善しようとする意識は生じているのか。（教育委員）

Ａ：ＳＷＯＴ分析は、校長会で小グループに分かれて全校長が発表し、全学校の情報を共有している。改善しようとする意識はあるものの、到達度テストや全国学力・学習状況調査など、様々なデータを組み合わせて統合的に分析する段階には至ら

ず、課題の可視化が十分に行われていない学校もある。（事務局）

Ｑ：校長会終了後、校長のみで協議する時間は設けられているのか。その場では、課題への対応方法や解決事例などを共有することはあるのか。（教育委員）

Ａ：小学校長会・中学校長会がそれぞれ開催されており、校長のみで協議を行っている。（事務局）

Ｑ：再分析した今回の資料は、校長だけでなく各校の教職員へ周知されているのか。分析しただけで、今後の具体的な方策が各校から提示されていないことも、問題である。（教育長）

Ａ：校長会だけでなく、夢と希望の推進委員会、学力推進委員会で周知している。（事務局）

Ａ：これだけの資料が揃っているのであれば、各校において徹底的に学校別・クラス別の傾向を分析し、何が原因でどこに課題があるのかを明らかにする必要があるのではないか。そうでなければ、次の方策や改善策を立てることもできないうえに、問題解決にもつながらない。（事務局）

※：全教職員に共有されず、具体的な方策も立てることができないのであれば、これらの資料は、全く意味を持たない単なるデータである。各校の教職員に共有されているかを確認し、伝わっていないようであれば、各校へ事務局が出向き、説明を行うべきである。（教育長）

Ａ：各校への周知方法は検討する。より効果的な方法で実施する。（事務局）

■〔教育総務課関連〕

①学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

（進捗状況）

・体育館建替工事の進捗率は５０％で、工程より１０％の遅れはあるが、８月末までに工程どおり進捗する見込みである。

工事内容：屋根工事、機械設備工事（配管工事）、電気設備工事

●河合中学校

（進捗状況）

・仮設校舎賃貸借については、進捗率４５％で、順調に進んでいる。

・校舎建設工事請負契約

６月４日入札落札　１，４０５，８００，０００円

株式会社赤鹿建設　令和８年６月５日～令和９年１１月３０日

→７月：河合地区区長へ工事説明、学校周辺地域住民に挨拶回り

・河合中学校仮設校舎移転業務委託

５月２５日入札落札　８８０，０００円
株式会社サカイ引越センター　加古川支店
→８月２０日～２１日：仮設校舎へ引っ越し
・格技場トイレ改修工事
６月２９日入札落札　７，９９７，０００円
梅田工務店株式会社

②ＧＩＧＡスクール端末更新事業（ＧＩＧＡスクール構想第２期「NEXT GIGA」）

（進捗状況）
・７月７日、校長会において端末更新スケジュール、操作研修等について説明を行った。

（今後の予定）
・７月２１日～８月２６日：各校へ納品及び更新作業
・２学期～：新端末での授業開始

③学校施設適正化推進事業（学校施設長寿命化計画の改定、適正規模・適正配置に関する基本方針の策定）

（進捗状況）
・６月２９日、選定委員会が開催され、契約候補者が決定した。
ランドブレイン株式会社　大阪事務所　契約金額７，７９９，０００円
→７月上旬契約
・５月～６月：学校運営協議会（コミュニティスクール）１２校への説明
→各学校運営協議会への説明結果は、別紙詳細
・７月：学校適正規模・適正配置検討委員会の設置

（今後の予定）
・７月２９日：第１回検討委員会の開催

④教育総務課情報

１　学校施設工事関係

〇小野中学校格技場空調設備整備工事設計・監理業務委託

１月３０日入札不調、３月９日入札不調、３月２４日随意契約
有限会社　ゼン建築設計　２，４５３，０００円
→３月３１日：現地調査、６月９日：設計内容及び工程の学校説明
７月中旬入札予定

〇中番小学校ろ材交換工事

３月９日入札落札　２，０３５，０００円
小林設備工業　有限会社

→４月１６日：現地調査、６月３０日：工事完成

〇小野東小学校空調更新工事

５月８日入札落札　９８，４５０，０００円

銭屋電機　株式会社

→６月３０日：学校への工程・仮設計画の説明、７月２１日：工事着手

〇来住小・大部小学校空調更新工事設計業務

→６月２９日：入札不調、７月再入札

〇来住小・下東条小学校照明ＬＥＤ化工事

→７月入札予定

〇市立小中学校照明ＬＥＤ化工事設計業務

対象校：小野小、河合小、市場小、大部小、中番小、小野中

６月２９日入札落札　９，９００，０００円

藤野一級建築設計事務所

〇小野東小学校屋上防水改修工事

４月２４日入札落札　１０，１２０，０００円

有限会社　三栄テックス

→４月３０日：現地調査、５月１２日：打合せ（工程・施工確認）

６月３０日：工事完成

〇市立河合小学校放送室デスクアンプ更新工事

令和８年５月に発生した落雷の影響（雷突入電流）により、放送設備が故障し、校内放送ができず、チャイムが自動で作動しない状態となり、更新工事を行う。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：旭丘中学校体育館建替工事の工程が１０%遅れている理由は何か。（教育委員）

Ａ：冬季の寒冷期に実施したコンクリート基礎工事で工程の遅れが生じ、その影響が現在まで残っている。（事務局）

Ｑ：建替後の旭丘中学校体育館の屋根は、三角屋根であるが、埃や水が溜まりにくい構造なのか。以前の旭丘中学校体育館の屋根はかまぼこ型で、埃や砂が雨樋に溜まり、数年ごとに業者による雨樋掃除を行っていた。そういった懸念はないか。（教育長）

Ａ：三角屋根は水はけも良く、かまぼこ型の屋根と比較して、雨漏りのリスクが少ない。（事務局）

Ａ：どちらかというと、屋根ではなく、雨樋の容量の問題だと考えられる。標準は、７０ｍｍ規格の雨樋であるが、近年は、ゲリラ豪雨や１００ｍｍ以上の雨が降ることが多いため、１３０ｍｍ規格程度の雨樋を採用する方が良いのではないだろうか。（教育委員）

※：工事業者に雨樋の規格を確認する。（教育長）

Ｑ：旭丘中学校校舎の長寿命化工事では、仮設校舎から体育館への通路でぬかるみが発生し、学校が対応に困っている様子を何度も目にした。鉄板を敷いて対応をしていたが、河合中学校の仮設校舎では、同様の問題は発生しないか。（教育委員）

Ａ：河合中学校においては、仮設校舎から体育館まで少し距離はあるが、土の部分は少ないため、旭丘中学校ほどの問題は発生しない見込みである。（事務局）

Ｑ：ＧＩＧＡスクール端末更新後、９月１日以降は新しい端末を使用できるのか。（教育委員）

Ａ：夏休み期間中に、全ての学校で更新作業を完了するため、９月１日以降は新端末を使用できる。（事務局）

Ｑ：学校施設適正化推進事業において、来週、第１回の検討委員会が開催されるが、教育委員の皆さんから何か意見等はないか。（教育長）

Ａ：各学校の学校運営協議会への説明結果を見ると、委員の方々は、近隣市の動向について、詳しく把握されている印象を受けた。（教育委員）

Ａ：関心の深さは子どもの年齢にもよるが、保護者の多くは、学校施設の適正化推進事業の取組が近い将来に行われると感じていないように思う。（教育委員）

Ｑ：学校施設適正化について、保護者がどのような意見をもっているのか知りたい。また、子どもの人数が減った場合、学校の統合もやむを得ないとし、ある程度の学級経営ができる規模の方が多様なことを学べるという意見の方が多いのか、それとも、子どもの人数が減っても、少人数で地元地域密着が良いという意見が多いのか等も教えていただきたい。（事務局）

Ａ：１０年以上前から、保護者の間では、子どもの人数が減っていることが話題となっていた。昔と違って、現在は考え方が変わってきており、少人数よりも一定の人数がいるクラスの方が、保護者として安心感があり、子どもにとっても楽しいのではないかという意見の方が強くなっている。また、多くの保護者は、適正化によって、保護者や子どもの負担となる部分をどこまで整備し、支援してもらえるのかということを期待している。他市の取組状況も耳に入ってくるため、それらと比較しながら、教育施設の整備だけでなく、安全かつ安心して登下校できる環境が確実に確保されることを求めていると思う。（教育委員）

■〔いきいき社会創造課関連〕

①図書館開設３０周年記念事業

（進捗状況）

・４月１日から「読書マラソン大会」を実施しており、現在、１１２名が参加しており、７月７日現在で、１００冊達成者は２５名となっている。
１００冊達成者には、記念品としてブックカバーを進呈する予定である。

・８月１１日、絵本や紙芝居等は一切使わず、耳だけで楽しんでいただく「夏のこわ～いお話会」を、小学生を対象に開催する。保護者へのＰＲは、デジタル連絡ツールの“スクリレ”で行った。

・夏休みの宿題応援展示として、読書感想文におすすめの本をカウンター前に約１，０００冊設置している。同時に、自由研究のアイデア紹介も行っている。

②地域づくり協議会事業

（今後の予定）

７月

・河合地区：安全・安心セミナー「新たな防災気象情報について学ぶ」

８月

・来住地区：コスモス畑植栽
・市場地区：三世代交流ふれあい囲碁ボール大会
「ぴちぴちいちばのおどり隊」を組織し、小野まつりに参加
・下東条地区：下東条夏まつり

③いきいき社会創造課情報

○第１回成人式実行委員会

日　　時：７月２７日（月）
実行委員：１４名（小野中出身３名、河合中出身４名、小野南中出身２名、旭丘中出身５名）

○図書館　昭和１００年展示

期　　間：６月２４日（水）～７月１７日（金）
内　　容：昭和１００年を記念して、激動の昭和時代を振り返る展示

○図書館　夏休み宿題応援展示（読書感想文おすすめの本）の設置

期　　間：７月１日（水）～８月３１日（月）
内　　容：読書感想文におすすめの本を、学年・ジャンルごとにカウンター前に設置

○好古館　企画展「子どものくらし大図鑑」

期　　間：６月６日（土）～９月２３日（水・祝）

内　　容：昭和１００年を記念して、激動の時代の子どものくらしの変化を関連資料や写真で振り返る展示

○好古館　企画展「いなみ野学園能面部能面作品展」

期　　間：７月９日（木）～７月１５日（水）

内　　容：県の老人大学・いなみ野学園能面部の部員・ＯＢ・指導者が制作した能面作品を展示

○コミセンおの　第２回防災マルシェ＋（プラス）

日　　時：７月１２日（日）

場　　所：長尾町公民館

内　　容：防災講演会、消火体験、トイレカーの展示、防災用品展示及び販売、キッチンカー、子どもビンゴゲーム、たこ焼き・野菜等の販売など

来 場 者：約３００名

○コミセンかわい　安全安心セミナー

日　　時：７月３１日（金）

場　　所：コミセンかわい

内　　容：新たな防災気象情報について学ぶ

講　　師：おの女性防災グループ　クローバーの皆さん

○コミセン下東条　下東条地区夏まつり

日　　時：８月１日（土）　　場　　所：コミセン下東条

○サマースクール（図書館、好古館、コミセン６館）

期　　間：７月２１日（火）～８月２１日（金）

対 象 者：市内在住の小学生・中学生

④行事一覧（既に終了した事業を含む）　※別紙詳細

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：図書館３０年の歩み展示では、当時流行し、貸出まで１年半待ちだった本を借りることができた。とても懐かしく、ゆっくり読書を楽しむことができた。（教育委員）

Ａ：各年のベストセラーを展示しており、ハリー・ポッター等の人気作品も並び、懐かしさを感じながら楽しむことができる展示であった。（事務局）

Ｑ：コミセンおの主催の「第２回防災マルシェ＋（プラス）」が、長尾町公民館で開催され、来場者が３００名と聞いたが、駐車場の混雑等は大丈夫だったのか。（教育委員）

Ａ：駐車場は広い空き地があるため、特に問題はなかった。（事務局）

Ａ：実際に参加したが、野菜の販売やキッチンカーの出店等があり、多くの来場者で賑わっていた。駐車場には係員が多く配置されていたため、問題はなかった。（教育委員）

■〔スポーツ振興課関連〕

①学校保健体育事業の推進

（進捗状況）

・７月中旬：中学校「おの体力検定（新体力テスト）」結果集計中
ひまわりカードによる朝食摂取状況調査結果集計中
→集計結果は右肩下がりの低下傾向のため、分析・対策を学校保健会等にも投げかけて検討する。同時に、学力の推移と今回の傾向が似ていることから、関連性についても調査を行う。

②第１３回小野ハーフマラソン２０２６

（エントリー状況）７月６日現在

	令和８年度	令和７年度
ハーフ男子	２，３１１	１，６８０
ハーフ女子	７１５	４９７
５ｋｍ男子	１８０	１４３
５ｋｍ女子	１６６	１１９
１．５ｋｍ小学４～６年	１２７	９８
１．５ｋｍ小学１～３年	１３６	１１５
合　計	３，６３５	２，６５２
申込率	６０．１％	４４．２％

（進捗状況）

・７月６日時点では、申込率が６０．１％であったが、７月２１日時点では、７４％となっている。このペースで増加すると、申込期限までに申込を締切る可能性がある。

③スポーツ振興課情報

１　学校保健体育

〇兵庫県中学校総合体育大会

期　間：７月２３日（木）～２９日（水）

※近畿中学校総合体育大会　８月　５日（水）～１１日（火）大阪府
※全国中学校体育大会　　８月１７日（月）～２４日（月）中国地方
→【出場校】※別紙詳細
・柔道（団体男子・団体女子）：小野中学校、
・柔道（個人男子）：小野中学校４名、（個人女子）：小野中学校５名
・バレーボール（女子）：小野中学校
・卓球（団体男子）：小野中学校
・陸上競技（共通男子）：旭丘中学校、（共通女子）：小野中学校、旭丘中学校
・陸上競技（男子２年）：旭丘中学校２名、（男子１年）：小野中学校２名
・陸上競技（女子２年）：小野南中学校１名、（女子１年）：小野中学校１名

〇市内中学校卓球部合同練習会
日　時：７月２０日（月）９時００分～１１時００分
場　所：総合体育館アルゴ
参加者：市内中学校卓球部７～８年生　約７０名
その他：面田采巳選手と面田知己選手が特別参加

２　社会体育

〇第１６回スポーツ玉入れ「アジャタ」大会（１８チーム）※Ｒ７：１１チーム
日　時：７月１９日（日）９時００分～
場　所：小野市総合体育館アルゴ　アリーナ
主　催：小野市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ２１小野市推進委員会、
　　小野市教育委員会
協　賛：兵庫ヤクルト販売（株）

〇小野市スポーツ施設予約システム更新・導入業務委託プロポーザル
日　時：７月１４日（火）１０時００分～１６時３０分
場　所：小野市役所２階　会議室２－１
その他：２社参加
→沖縄県に本社がある OTS MICE MANAGEMENT 株式会社に決定した。
新たに導入するスポーツ施設予約システムは、スマートフォン決済に対応しており、今まで手作業で行っていた利用者分析が自動作成できる機能を備えている。

３　今後の予定

〇教職員健康診断
日　時：７月２３日（木）、８月７日（金）終日
場　所：小野市役所２階　会議室２－１～２－４

○市長激励会

日　時：７月３１日（金）

場　所：小野市役所５階　特別会議室

※県総体（７月２３日～２９日）の結果により出席者が決定

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：世界デフテニス選手権大会に出場した松平選手の試合はどうだったのか。（教育委員）

Ａ：女子チームは優勝し、大会２連覇を達成、男子チームは、前回大会を上回る第５位という好成績を収めた。松平選手は、初戦のダブルスに出場され、惜しくも強豪フランスに敗れたが、チームの初陣を支えたと聞いている。（事務局）

Ｑ：小野ハーフマラソンで、申込期限前にエントリーを締め切った事例は、今までなかったのではないのか。（教育委員）

Ａ：前回大会は、ハーフの部門で申込数が若干オーバーしたが、申込期限まで受付を継続した。今回は、昨年以上にハイペースで申込が進んでいる。おそらく、小野ハーフマラソンの知名度が上がったことやリピーターの増加が、主な要因かと思われる。（事務局）

４　その他

○播磨東地区教育委員会連合会総会・研修会

日　時：７月２４日（金）１３時４５分～

場　所：西脇市市民交流施設　１階　オリナスホール

５　次回定例教育委員会予定

８月２０日（木）１３時３０分～　４階会議室４－１

９月２９日（火）１３時３０分～　４階会議室４－１

６　閉会あいさつ　教育長